



TITLE:

一、舌唇音(Linguo-labials)について 二、ツツバ語の所有をあらわす 表現について

AUTHOR(S):

内藤, 真帆

CITATION:

内藤, 真帆. 一、舌唇音(Linguo-labials)について 二、ツツバ語の所有をあらわす表現について. Dynamis: ことばと文化 2005, 9: 112-119

ISSUE DATE:

2005-10-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87718>

RIGHT:

[研究会報告 3]

一、舌唇音 (Linguo-labials) について¹

内藤 真帆

舌唇音 (Linguo-labial) とは

舌唇音 (linguo-labials) は舌と上唇で調音される音のことである。この音は人間が発音しうる言語音であると認識されていたものの、実際に言語音として使用されているとは考えられていなかった。

しかしこれまでにタンザニアのバンツ語で、そしてエベレット (Everett 1982) によりブラジルのムラ語 (Mura) に確認されたとの報告がある。

この音はヴァヌアツでも確認されており、トライオン (Tryon 1976) はこの音がヴァヌアツの 8 地域で用いられていることを明らかにしている。トライオンら 4 人の言語学者がヴァヌアツの現地語を対象に基礎語彙およそ 300 語を調査し、下唇音を確認したのは次の地域である。→地図

ミニマルペア

snake	mata	paper	bembe
uncle	m'ata	butterfly	b'emb'e

ただし今日、uncle, paper に必ず舌唇音が発音されているというわけではなく、m, b > m, b という変化が起こりつつある。

二、ツツバ語の所有をあらわす表現について²

1. 譲渡可能と譲渡不可能

ツツバ語には所有関係をあらわす主要部表示的な形式である所有者接辞が存在する。

¹2004 年 11 月 12 日発表。

²2004 年 11 月 12 日発表。

所有者の人称・数をあらわすこの接辞はある種の名詞にとって義務的なものである。ある種の名詞とは身体部位、親族名称、命日などであり、これらは譲渡不可能名詞にあたると考えられる³。

2. 直接所有と間接所有

被所有物と所有者の関係において、被所有物が譲渡不可能な名詞であるときその関係を直接所有 (Direct possessive) と呼び、逆に被所有物が譲渡可能な名詞であるならば間接所有 (Indirect possessive) と呼ぶことにする。

3. 所有をあらわす表現の種類

被所有物が譲渡不可能であるか譲渡可能であるかにより、ツツバ語の所有表現は句レベルにおいて直接所有と間接所有の二つに分類できる。これらには構造上の違いも存在し、間接所有には被所有物の意味役割に対応する四つの分類辞があらわれる。この分類辞に関してはのちほど詳しく見ていくことにする。

直接所有と間接所有のそれぞれは所有者位置に所有者接辞をとるか名詞句をとるかによりさらに二分される。名詞句をとるばあいは被所有物と所有者である二つの名詞句に所有の繫辞 (linker) である *n* が挟まれる。

(直接所有の *a* と *b*、間接所有の *c* と *d* の一覧は省き、5. で詳しく見てゆく。)

下に挙げたのは *a*~*d* の例である。直接所有表現には分類辞があらわれないが (*a'*)、一方間接所有の表現には分類辞があらわれる。また分類辞により所有者が有標化される (*c'*)。

所有者 = 所有者接辞

直接所有 (*a'*) *undu-ku*

tooth-my 「私の歯」

間接所有 (*c'*) *firiu mbula-ku* *mbula* が分類辞

dog classifier-my 「私の犬」

先に述べたように直接・間接の両所有構造には所有者が所有者接辞であらわされるばあいと所有者が主格の名詞句であらわされるばあいの二通りがある。前者の構造は単純であるが (上記 *a'*、*c'*)、後者、つまり所有者が名詞句であらわされるばあいの構

³ 譲渡不可能名詞とは分離不可能、または譲渡不可能である被所有物を主としてその意味とする語類であると定義する。

造は前者に比べて複雑化し、被所有物と所有者の間 (b'.), または分類辞と所有者の間に繋辞 (linker)n があらわれる (d'.)。

所有者＝名詞句

直接所有 (b'.) undu-n Elles

tooth-link Elles 「エレスの歯」

間接所有 (d'.) friu mbula-n Elles

dog classifier-link Elles 「エレスの犬」

4. 所有者接辞

ここでツツバ語の所有者接辞を下に示す。同様に pawley(1973) の仮定したオセアニア祖語を比較のために挙げる。

ツツバ語

	SG	DL	PL
1INCL		-nda	
1EXCL	-ku	-man	
2	-m		-miu
3	-na		-ra

オセアニア祖語

	SG	DL	PL
1INCL			-da
1EXCL	-ng	-ma(m)i	
2	-mu		-m(i)u
3	-n*a		-dra

*鼻音化した n

5. 直接所有

5-1. 直接所有の a. タイプ

被所有物 所有者

名詞句 ー所有者接辞

名詞句に所有者接辞が直接付加するこの構造が包括する範疇は幅広く、次のようなものがある。

1. 親族名称 (家族、父、母、兄弟、子供、妻 など)
2. 身体名称と身体より生み出されるもの、寄生するもの (身体、手足、血、涙、風邪、しらみ、ひげ、尻尾 など)
3. 個人の属性 (年齢、声、主張、ポジション など)
4. 個人の所有財産 (ベッド、家、服 など)

5. その他 (発話、命日)

6. 全体とその一部 (鍋の取手、かばんの手提げ、部屋の角、岩にできた穴 など)

7. 数詞

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------------|
| (1) natu-ku | (2) utu-ku | (3) sara-na |
| child-my 私の子供 | louse-my 私の虱 | place-her 彼女のポジション |
| (4) ruru-m | (5) bong-na | |
| wear-your あなたの服 | day-him 彼の命日 | |

5-2. 直接所有の b. タイプ

被所有物	所有者
名詞句	所有繫辞 主格の名詞句

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| (1') natu-n Elles | (2') utu-n natu-ku |
| child-link Elles エレスの子供 | louse-link child-my 私の子の虱 |

ツツバ語では直接所有において所有者接語をとるときには上に示したように被所有物-所有者接語という構造をとる。そして所有者接語以外が所有者となるばあいは繫辞 *n* が被所有物に付加して被所有物 *n*(繫辞) 名詞句となり、被所有物が有標化される。なお、ツツバ語において繫辞は *n* 一つだけであるが、オセアニアの言語の中には二つ有するものもある。ツツバ語と互いにコミュニケーション可能であるとされるタマンボ語(マロ島)には *ni* と *i* という二つの繫辞があり、所有者の位置に固有名詞、親族名称があらわれるときには *ni* が、普通名詞が所有者の位置にあらわれるときには *i* が発音されている。

6. 間接所有

間接所有は分類辞を伴い、直接所有の構造同様、所有者が代名詞接辞のばあいは繫辞 *n* が不要であるが、普通名詞、固有名詞が所有者となるばあいには繫辞 *n* が分類辞に後続する。

分類辞

ツツバ語の所有表現にあらわれる分類辞には次の4つがあり、被所有物と所有者の関係によりこれらの分類辞は使い分けられる。

分類辞	被所有物の種類
-----	---------

no-	個人の財産、一般的な物 (personal property, general possession)
-----	---

mbula- 豚を除く生き物 (living object possession)

a- 食べ物 (food possession)

ma- 飲み物 (drink possession)

6-1. 間接所有の c. タイプ

被所有物		所有者	
名詞句	分類辞	所有者接辞	
分類辞 no-			
tangai	no-ku	plantesion	no-m
bag	classifier-my	plantation	classifier-your
私の鞆		あなたのプランテーション	
分類辞 mbula-			
firiu	mbula-ku	toa	mbula-na
dog	classifier-my 私の犬	chicken	classifier-his 彼の鶏
分類辞 a-			
	fusai a-ku	famol	a-m
green coconut	classifier-my	orange	classifier-your
私のココナツ		あなたのオレンジ	
分類辞 ma-			
	fusai ma-m	ae	ma-na
green coconut	classifier-your	water	classifier-his
あなたのココナツ		彼の水	
このタイプに限っては所有者→被所有物の順も可能である。			
mbula-ku	firiu		
classifier-my	dog 私の犬		

6-2. 間接所有 d. のタイプ

被所有物		所有者	
名詞句	分類辞	所有の繋辞	主格の名詞句
分類辞 no-		分類辞 mbula-	
tangai	no-n	fafine	firiu mbula-n Tomas
bag	classifier-link	woman	dog classifier-link tomas

女の子の鞆			トーマスの犬		
分類辞 a-			分類辞 ma-		
famol	a-n	Maho	kofi	ma-n	Tomas
orange	classifier-link	maho	coffee	classifier-link	tomas
マホのオレンジ			トーマスのコーヒー		

7. まとめ

1. ツツバ語の 4 つの所有表現は次のようにあらわすことができる。

N-possessive pronominal suffix - a

Poss NP → possessed NP (Art) -linker NP —b

Classifier - pronominal suffix -c

Classifier - linker NP —d

質疑応答（敬称略）

舌唇音に関して

三谷： 舌唇音 b が発音されるときは m のときよりも舌先が前に出て両唇に挟まれているため舌唇音であると分かりやすい。特に正面から見るとよりそれが明らかである。m の発音の際には鼻からも息が抜けるため、m より b のほうが唇音として聞き取りやすいというのはあるかもしれない。

所有を表す表現に関して

三谷： 間接所有 c タイプだけが所有者→被所有物のように語順の入れ替えが可能、つまり分類辞から始めて良いということになるのか。これにはセンテンスの中の位置が関係しているとは考えられないだろうか。このタイプだけ語順の入れ替えが可能な理由を考察する必要があるだろう。

内藤： 他言語にもこのように所有をあらわす表現のうち、ひとつのタイプだけ語順の入れ替えが可能という現象が観察されていた。他言語の記述と照らし合わせつつ、ツツバ語におけるこの現象の理由を考察することにする。

三谷： 「マラリアの蚊」というその他の①の例文に関してであるが、属性的なものが所有表現であらわされるのだろうか。日本語の「の」なども属性を表すことにも留意しながらもう少し考えてみるとよいだろう。

李： 「マラリアの蚊」はパラフレーズするとどのようになるのか。動詞を入れるなどするとどのように表現可能であるか。

内藤： すぐにはお答えできない。

三谷： マラリア、というのが擬人化されているのだろうか。ツツバ物が所有者になっている例はどのようなものがあるか。

内藤： A タイプの なべの取手、かばんの手提げ、そして部屋の角といった、全体とその一部に分類したものは物が所有者の例になる。

三谷： マラリアがもたらす、と考えると日本でも「マラリアの蚊」とは言えるようだ。そのように考えると間接所有とは逆に属性的なものだとこのように不可分なものがあってもおかしくはないかもしれない。面白い例なので今度また整理しなおすとよいだろう。

李： 日本語の「の」はかなりの吸収力があるため「マラリアの蚊」という表現に問題はないだろう。これは所有というより属性に近いのではないか。その他の②「エレスは

ダンスが得意である」の例は所有ではないようだ。強いて意味的に分類すれば象は鼻が長い、のようなものになるかもしれない。この例で用いられている *n* は所有の *n* であると考えられるのか。

内藤： 現時点では所有の繫辞 *n* であると考えられる。

三谷： この所有を表す表現の 4 分類は分かりやすかった。これからまた整理しなおし、考察を続けていってほしい。